



他の自治体と比べると、人口2万4,100人規模の境町において、209億円の一般会計歳入は大きな収入額であるといえます。

**会社为例えと
売り上げ増で、利益率も増の良い状態**

一般的な自治体では、学校や施設などいわゆる「ハコモノ」を建設することで支出（歳出）が増えます。一方、境町では、将来に向け貯金を増やしていることから支出（歳出）額が増えています。現在の境町の財政状態を会社为例えらば「売り上げが上がって利益率があがり、余裕資金がある」状態です。つまり、境町の業績は好調であると言えます。

《他自治体の決算規模と比較》

自治体名 (人口)	歳入	歳出
守谷市 (人口 6 万 4,600 人)	222 億円	206 億円
稲敷市 (人口 4 万 3,100 人)	211 億円	205 億円
境町※ (人口 2 万 4,100 人)	209 億円	206 億円
八千代町※ (人口 2 万 2,000 人)	86 億円	81 億円

※平成 29 年度決算額速報値と比較
(境町、八千代町は平成 30 年度決算)

平成30年度の歳入は前年度の1.5倍増の209億5,827万円となりました。歳出は、206億9,777万円となり、次年度へ繰り越す事業費の財源5,543万円を差し引くと3億4,850万円の黒字となりました。

町の収入（歳入）が増えているのは、前のページで紹介した新たな財源の獲得によるものです。収入（歳入）には、ふるさと納税や企業版ふるさと納税の寄付金をはじめ、「地方創生交付金」のような国や県からの補助金や、ガバメントクラウドファンディングにより境町に寄せられた寄付金、太陽光発電の売電収入など、新たな財源から獲得した収入が含まれています。新たな財源から獲得した収入が含まれています。

他の自治体と予算を比べてみましょう。

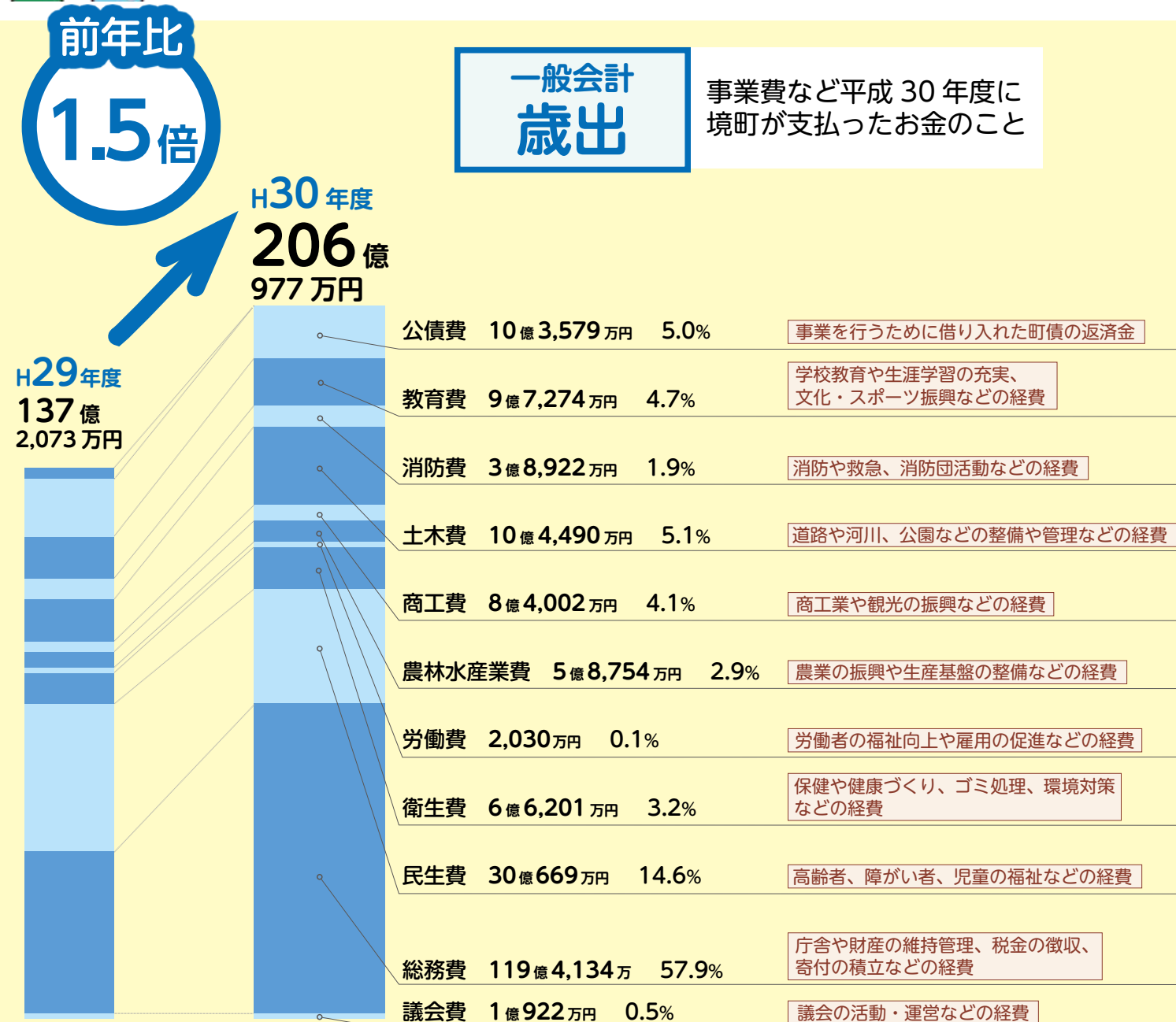
新たな財源により収入（歳入）UP！

平成30年度決算は
3億4,850万円の
黒字です



一般会計 歳出

事業費など平成30年度に境町が支払ったお金のこと



一般会計 歳入

税金など平成30年度に境町に入ってきたお金のこと

